

は　じ　め　に

ここに『国際交流基金日本語教育紀要』第8号をお届けします。

本紀要には、当基金の日本語教育事業に携わる日本語教育専門員・派遣専門家等が日々の活動の中で取り組んできた問題や課題をまとめ、「研究論文」（研究成果に独創性がある、理論的・実証的論文）、「研究ノート」（教育、教材開発などの実施過程でまとめられた中間研究報告）、「実践報告」（教育、教材開発などの実践の目的、特色、経過、成果などについて紹介、分析した報告）、「報告」（当基金が実施する事業に関する報告や海外の日本語教育関係機関の視察報告等）として執筆したものの中から、編集委員会による審査のもと、計12編を選定し掲載しました。

皆様からの忌憚のないご意見、ご批判をいただければ幸いです。

本紀要が、当基金の日本語教育事業をより深くご理解いただく一助となることを願っています。

2012年（平成24年）3月

国際交流基金